科目名	69．妊娠・分娩期の看護				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	妊娠・分娩期における看護を理解することができる				
到達目標	妊娠期の身体的（胎児の発育を含む）・心理的・社会的特徴、分娩経過をふまえ、対象に必要な看護について表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学各論　母性看護学②　医学書院 ウェルネスからみた　母性看護過程　+病態関連図　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	「妊娠期・分娩期の看護」では、母体の変化と心理・社会的特性、胎児の成長発達について、分娩機序と分娩経過、及び異常について学び、対象に必要な看護について理解することを求めています。 演習や事前学習を通して妊婦・産婦への理解を深め、興味関心をもって学習に取り組んでほしいと思っています。人の一生において、妊娠・分娩は様々な価値観があります。協同学習を通じて自己理解・他者理解を深め、多様な価値観を共有できるよう自分の意見を持つとともに他者の意見を柔軟に取り入れる等、積極的な学習姿勢を臨みます。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	正常な妊娠の経過	定義、妊娠の成立、妊娠経過と胎児の発育、母体の生理的変化	講義
2	正常な妊娠の経過	妊婦と家族の心理・社会的変化、妊娠による不快症状	講義
3	妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント	妊娠週数、妊婦の健康状態と胎児の発育、妊婦健康診査、NST	講義
4	妊婦と家族への看護	健康維持・増進、セルフケアに関する教育、家族への再調整、出産・育児準備	講義
5	妊娠期の健康問題に対する看護	流産、早産、感染症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、妊娠高血圧症候群	講義
6	妊娠期の健康問題に対する看護	妊娠糖尿病、出生前診断、妊娠貧血、妊娠悪阻、胎児機能不全	講義

7	妊娠期の健康問題に対する看護	妊娠期を健康に過ごすために必要な看護について考える	講義
8	正常な分娩の経過	定義、分娩の三要素、分娩の経過	講義
9	産婦・胎児の健康のアセスメント	分娩経過と進行、胎児の健康状態、破水、胎児心拍数モニタリング	講義
10	産婦と家族への看護	産婦の基本的ニーズ、分娩進行に対応した看護	講義
11	産婦と家族への看護	産痛と家族の心理・社会的変化と看護	講義
12	分娩期の健康問題に対する看護	前期破水、吸引分娩、鉗子分娩、帝王切開、異常出血、胎児機能不全、陣痛異常	講義
13	分娩期の健康問題に対する看護	分娩期に必要な看護について考える	講義
14	妊娠期・分娩期の看護	妊婦体験、妊婦健診診査、分娩期の看護	演習 （実習室）
15	まとめ	妊娠期・分娩期の看護まとめ	講義